

公益財団法人 8020推進財団
平成28年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：特定健診会場における口腔保健指導の導入

2. 申請者名：一般社団法人宮城県歯科医師会 会長 細谷仁憲

3. 実施組織：一般社団法人宮城県歯科医師会

4. 事業の概要：

特定健診には歯科に関する質問項目が存在しない（平成28年度）。そのため全身の健康はもちろんのこと、自分の口腔の健康にも関心を持ち、歯科口腔重要性を理解していただくとともに、歯科口腔保健指導の導入の方法、および受診者の口腔に関する意識の概要を「セルフチェック版生活歯援プログラム」、「ペリオスクリーンによる歯周病検査」を活用し検討してみた。

5. 事業の内容：

特定健診会場において設けられる協会けんぽ宮城支部主催のショッピングセンターを活用した特定健診（まちかど健診）の希望者と同日同会場体験コーナーを設けて実施している健康づくりイベントの来場者を対象として行った。

特定健診にオプションとして「セルフチェック版生活歯援プログラム」、「ペリオスクリーンによる歯周病検査」を導入し、結果をもとに受診者へ各自の口腔の状態、それに対する助言や口腔衛生指導、生活習慣等を歯科医師と歯科衛生士が行った。さらにサンスター株式会社の協力を得て、口腔保健に関するビデオ（歯磨きの正しい仕方、歯間ブラシの使用法、震災時に有効だった液体歯磨きの正しい使用法等）も放映した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

ペリオスクリーン、生活歯援プログラムの判定結果をもとに保健指導を歯科医師および歯科衛生士が行ったが、必ずしも両者が関連しあうような結果を示すとは限らない。ブラッシング指導、口腔の健康相談をメインに、セルフチェック版の最後に表示されるコメントを十分に理解していただき生活習慣の改善に努めるよう指導を行った。また健診会場の特殊性により今年度は1回のみ開催となってしまったため、現在次年度の会場選定を入念に行っている。

このような強制力をもたない歯科健診、簡易検査等はある程度自分の口腔に関心があり自信のある方が受診することが多い。そのためすべての人の口腔状態の縮図とは言い難い。

特定健診にオプションとして「セルフチェック版生活歯援プログラム」、「ペリオスクリーンによる歯周病検査」を導入することにより今までの健診とは違うことに気づく人がほとんどである。しかしこれは保健指導、生活習慣の改善がメインとなるので治療勧告とは異なる。間接的には治療へと無水つけていくことは可能であると思われる。そのため多くの人たちに体験してもらい歯科にも保健指導が重要であることを認識させていく努力を要すると感じた。